

平成31年度 推薦入試

小論文（経営学部）出題のねらい

問1

場面を想像して記述させる問題。非公式な調整場面を想像できればよい。これがメールやSNS、仲のよい女子会などでもかまわない。別の委員会や討論会はよくない。また、ここでは、なぜそうするのかという理由は問うていない。

問2

ここは、筆者の考えを正確に読み取ること。また、変遷を問うているので、それに答えていること。出題文から筆者の考えおよび変遷を読み取り、記述できているかを見る。

問3

問2と同様に、筆者の考えを正確に読み取ること。一つは日本社会や日本の生産性の問題、一つは国際的に通用しないことの問題、一つは個人の自由の実現に関わる問題。この順番は問わないが、個人の自由の実現の論点は答えにくいかもしれない。これに代えて、「今の若い人たちは、対立が表面化することを極端に恐れていること」や「学生たちが、高校までずっと、自分の意見ははっきり言わない方がよいという教育を受けてきたと言っていること」を答えていてもよい。

問4

長文の記述力と論理的思考力をみる。本問は解答字数が長いため、必ず、段落を2つ以上切っていること。また、ワンセンテンスをだらだらと長く続けていないこと。また、読みやすい構成、読み手を引きつける構成になっていること。

さらに、自己の体験や（確かな）伝聞など、説得力を増すエビデンスがあるとなおよい。